

## 事業実績書

団体名	吉敷自治会(吉敷地区地域づくり協議会)
-----	---------------------

## 1 総括

あらゆる事業において「笑顔あふれる ふるさと吉敷」をテーマに交流促進を図りました。特に、解決方法を探っていたふるさと伝承事業については、地区を飛びこえた大学連携の基礎づくりができ、新たな交流による予想以上の成果が期待できる状況となりました。また、今年度を吉敷地区の「防災元年」と位置づけて、先進地視察等を実施し、安心・安全なまちづくりの推進にも努めました。

一方で、事業によっては速やかな実施が難しく、地区内の諸団体の自立・組織の立て直しというこれまでの課題と併せて、その解決のために当協議会の体制を再編することとし、組織再編の検討に多くの時間を費やすこととなりました。

## 2 事業内容

## (1) 協議会運営

事業費	6,550,015円
事務局の 運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長1名 事務員3名(平成25年1月より1名減) (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 事務局員は2年目に入り、改めて責任の重い業務と感じながらも滞りなく事務局運営をしました。 (今後に向けて) 当地区は、自治会を始め、地区社協や指定管理の業務も担っており、種種雑多な業務に追われている毎日ですが、地域づくりの核となるべく事務局の態勢を整え、これまで以上に努めてまいります。

## (2) 地域振興

事業名	地域情報発信事業
事業費	153,135円
事業概要	(実施内容) ホームページやセンター発行の「ふるさとだより」の活用による地区内の行事等の情報発信をしました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 6人 (成果) ホームページで地域の情報を発信しましたが、地区住民に、もっとホームページを知ってもらうことが課題となっています。また、「ふるさとだより」を活用し、8月号において5ヶ年計画等を発信したものの、協議会独自の発行はできませんでした。 (評価) 「ふるさとだより」についてはセンターとの協議が叶わず、悔いの残るものとなりました。 (今後に向けて) センター発行の情報誌と一緒に発行を試みている他地区の例も参考に、センターとの協議のうえ情報発信を強化したいと考えます。

事業名	地域ふれあい標語
事業費	10,000円
事業概要	<p>(実施内容) おまつりの会場で募集した標語(ふれあい・防災)と、青少年育成部会において集められた安心安全の標語を毎号「ふるさとだより」に載せました。</p> <p>(実施時期) ふるさとまつり</p> <p>(参加人数) 10人</p> <p>(成果) 地区になじみの深い「ふるさとだより」に標語を毎月載せることで、さりげない啓発ができました。</p> <p>(評価) 良好と思われます。</p> <p>(今後に向けて) 今後も継続して実施していきます。</p>

事業名	成人式思い出づくり
事業費	165,750円(内自治会:65,750円)
事業概要	<p>(実施内容) 思い出深い成人式にさせていただくため、記念写真を装飾してお祝いしました。</p> <p>(実施時期) 2月</p> <p>(参加人数) 100人</p> <p>(成果) 良好と思われます。</p> <p>(評価) 大変喜んでいただき、写真のみならず思い出も大切にさせていただけるものと思われます。</p> <p>(今後に向けて) 今後も継続して実施していきます。</p>

事業名	人権推進活動
事業費	125,744円
事業概要	<p>(実施内容) 小・中学校と連携して人権大会を共催し、広く地区の方々の参加を促しました。吉敷出身の講師を呼び、地区人権大会を開催しました。</p> <p>(実施時期) 11月、2月</p> <p>(参加人数) 200人</p> <p>(成果) 小・中学校との連携は、定着しつつあり、地域の皆さんにとっても開放された学校として参加者は年々増えています。しかし、地区の人権推進協議会との連携は課題を残すものとなりました。</p> <p>(評価) 概ね良好と思われます。</p> <p>(今後に向けて) 今後も継続して実施し、課題となった団体間の連携については解決に努めます。</p>

事業名	ふれあいあいさつ運動
事業費	291,293円
事業概要	<p>(実施内容) 当協議会のホームページアドレスをデザインした「エコバッグ」を作り、それをきっかけに情報共有や行事参加を促し、様々な場面で地区住民どおしがふれあい、あいさつが飛び交うように働きかけました。</p> <p>(実施時期) 10月</p> <p>(参加人数) 200人</p> <p>(成果) エコバッグは好評で、多くの方に利用されています。</p> <p>(評価) 良好と思われます。</p> <p>(今後に向けて) 今後も継続して実施したいと思ひます。</p>

### (3) 地域福祉

事業名	青少年育成
事業費	14,700円(内自治会:7,056円)
事業概要	(実施内容) 夏休みの間、警察や地区内の団体との連携で非行防止のための夜回りを実施しました。 (実施時期) 夏休み (参加人数) 50人 (成果) 地区内の団体の連携、協力により青少年非行防止が図れました。 (評価) 良好と思われます。 (今後に向けて) 今後も継続して実施したいと思います。

事業名	ふれあいウォーキング
事業費	28,694円
事業概要	(実施内容) 子ども会が実施する東鳳翻山の登山に、新たに地域住民や地域の活動団体「ほうべん歩こう会」も参加し、交流しました。 (実施時期) 5月 (参加人数) 170人 (成果) 子ども会加入率の低下に伴う登山参加者の減少が懸念されていた「子ども会鳳翻登山」を地域の交流事業として開催したことで、多くの参加者で実施することができました。また、山登りの会の専門的な山登りの手法も教えていただくこともできました。子どもから年配の方まで登山を楽しむことにより、地区住民のふれあう機会ができました。 (評価) 良好と思われます。 (今後に向けて) 今後も参加者増加をめざし、実施したいと思います。

事業名	子育て支援事業
事業費	161,000円
事業概要	(実施内容) つどいの広場「楽楽楽(ららら)」の運営を支援しました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 30人 (成果) 現場運営のスタッフの自立が確立しつつあります。 (評価) 良好と思われます。 (今後に向けて) 今後も継続して実施したいと思います。

事業名	スポーツ少年団支援事業
事業費	90,000円(自治会のみ)
事業概要	(実施内容) 地区内のスポーツ少年団の活動を支援しました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 300人 (成果) 子ども達の健全育成、体力づくりへ寄与することができました。 (評価) 支援による成果はありましたが、地区内スポ少と地域行事とのすり合わせ等、連携ができていないため、地区行事への参加が少なかったことは、今後への課題となりました。 (今後に向けて) 継続実施をするとともに、スポ少の連絡協議会の組織の立ち上げに向け関係諸団体に協力を呼び掛けていきたいと思ひます。

(4)安心・安全

事業名	自主防災組織づくり
事業費	477,080円(内自治会:277,080円)
事業概要	(実施内容) 防災意識を高めるために、親子防災訓練や防災大学(講演)を開催しました。また、先進地研修として、周南の桜木地区を視察を実施し、図上訓練用の白地図を配布しました。 (実施時期) 9月、12月、3月 (参加人数) 120人 (成果) 親子で参加する防災訓練により、防災に対する意識が高まったと思われます。桜木地区への視察は、単位町内会ごとの自主防災組織立ち上げの重要性を感じることができ、今後の組織立ち上げに期待を持ってました。 (評価) 概ね良好と思われます。 (今後に向けて) 地区の防災組織を整えるため、各町内会ごとの自主防災組織立ち上げを図ります。自主防災組織づくりに向けた意識の啓発に力を入れたいと思います。

事業名	子どもの見守り活動
事業費	230,000円
事業概要	(実施内容) 子どもの見守りのため、「キッズガード」ステッカーを作製し、地区の関係者等の車に貼ってもらって、さりげない「毎日の見守り」をしました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 150人 (成果) 「キッズガード」ステッカーを貼っている知らない人どうしの連帯感が感じられました。また、「キッズガード」を貼りつけた車が地区内で増えることが、犯罪等への抑止力に繋がると考えられます。 (評価) 概ね良好と思われます。 (今後に向けて) 商工会等、地区内の各種団体との協力・連携により推進していきます。

事業名	カーブミラーの充実
事業費	37,000円
事業概要	(実施内容) 交通安全のため、地区内のカーブミラーが充実しました。 (実施時期) 6月 (参加人数) 10人 (成果) 単位町内会からの要望を元に備え付け、安全対策が充実しました。 (評価) 概ね良好と思われます。 (今後に向けて) 各町内会へ周知し、各町内の要望を把握したうえで対応していきます。

## (5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物・単市土地改良)
事業費	2,581,000円
事業概要	(実施内容) 8箇所の法定外公共物の整備を実施しました。 (実施時期) 7月～2月 (参加人数) 50人 (成果) 事業要望の多くに対応し、地区内の環境整備が進みました。 (評価) 良好と思われます。 (今後に向けて) 各町内会へ周知し、各町内の要望を把握したうえで、対応していきます。

事業名	ホタルが飛び交うふるさと吉敷
事業費	135,923円(内自治会:50,000円)
事業概要	(実施内容) 学校との連携による河川清掃、ホタル採取、飼育、放流を行いました。 (実施時期) 5月～9月 (参加人数) 650人 (成果) 地域と学校との連携・協力により、たくさんの参加者による事業の実施ができました。 (評価) たくさんのホタルが飛び交う風流な季節を感じることができました。地域は学校、子ども、ホタルのために参加し、学校は地域づくりの一翼を担うため開かれた学校を目指し、子ども達は環境意識を高めながら、それぞれが改めてふるさとへの愛着と命の尊さを学ぶことができ、有意義な事業だと考えます。 (今後に向けて) 今後も小学校との連携を強化し、美しい環境づくりを作っていきます。

事業名	環境美化事業
事業費	105,206円
事業概要	(実施内容) 「桜の樹」広場の草刈り等を行い憩いの広場を作る基礎づくりをしました。榎野川清掃週間に合わせ、吉敷川の清掃を実施しました。 (実施時期) 5月～3月 (参加人数) 2,000人 (成果) 憩いの広場づくりのためのプランができました。 (評価) 例年春に1回実施していた草刈りを桜が咲く前3月にも実施するなど、活動が広がっています。 (今後に向けて) 憩いの広場を整えていきます。

事業名	クリーン大作戦
事業費	0円
事業概要	(実施内容) 「社会奉仕活動月間」に合わせ実施する予定でしたが、各町内会ごとに実施する世代交流の清掃作業となり、吉敷自治会からの支出はありませんでした。 (実施時期) 11月 (参加人数) 800人 (成果) 「社会奉仕活動月間」を地区に広めることができました。 (評価) 概ね良好と思われます。 (今後に向けて) 事業計画を練り、実施できるように努めます。

(6)地域個性創出

事業名	コミュニティ活性化事業
事業費	1,530,661円(内自治会:73,434円)
事業概要	(実施内容) 大運動会、夏まつり、ふるさとまつり、良城フェスタ(小学校PTA共催)を開催しました。 (実施時期) 4月～11月 (参加人数) 3,000人  (成果) 5年ぶりの大運動会は、場所を小学校に移し開催しました。夏まつり、ふるさとまつりは「ふれあい」をテーマに実施し、たくさんの方が楽しみました。  (評価) 雨のため延期して開催した大運動会は地区住民が楽しみにしていた行事であり、参加者はほのぼのとした雰囲気を満喫しました。今後も天候に恵まれ毎年開催できることが望まれます。また、夏と秋のおまつりについては、新企画も加えた様々なメニューで開催することができ、雨が振った時間帯もありましたが、スタッフも片付けも含めて雨への対応ができていました。  (今後に向けて) 小学校を中心としたおまつりの企画(ふるさとまつりと良城フェスタの同日開催等)を小学校PTAと協議したいと思います。

事業名	吉敷スポーツ交流会
事業費	43,812円
事業概要	(実施内容) ゴルフ大会(会費制)と世代交流グラウンドゴルフ大会を開催しました。 (実施時期) 11月、3月 (参加人数) 110人  (成果) 愛好者が楽しみにしているゴルフ大会と世代交流を目的にしたグラウンドゴルフ大会を開催しました。  (評価) 参加による新たな交流ができました。特にグラウンドゴルフ大会では地区の大人と子どもがペアとなり一緒に競技を楽しめる独自ルールが好評でした。  (今後に向けて) 新しい交流やふれあい、または健康づくりのため継続して実施いたします。

事業名	藤棚保存事業
事業費	30,000円
事業概要	(実施内容) 地区の景勝としての藤棚の保存を行いました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 30人  (成果) 2年前から継続実施しているため、藤の木は元気に蘇ってきました。 (評価) 良好と思われます。  (今後に向けて) 藤棚を昔の景観に戻すべく、保存のための手入れを継続し、地区の景勝を広報するとともに広場として整備いたします。

事業名	部会活動援護事業
事業費	158,578円
事業概要	(実施内容) 各専門部会の活動のための援護をしました。 (実施時期) 通年 (参加人数) 50人  (成果) 部会の活動が滞りなくできました。 (評価) 概ね良好と思われます。  (今後に向けて) 専門部会の役割を明確化するために組織の改編をし、各部会ごとに部会員による活動を推進し、継続して援護いたします。

事業名	ふるさと伝承事業
事業費	100,000円
事業概要	<p>(実施内容) 吉敷に眠る宝物(吉敷にある名所旧跡や昔話等)の掘り起こしと保存方法について大学連携により実施するための土台を作りました。</p> <p>(実施時期) 12月～3月</p> <p>(参加人数) 8人</p> <p>(成果) 大学との打合せにより、次年度からの事業内容の概要がまとまりました。そのための必要な備品を購入しました。</p> <p>(評価) 「大学連携」で吉敷在住の大学講師のゼミの参加により、思っている以上の成果と吉敷を知らない若い学生の興味を引き出してくれることが期待できました。また、数回の話し合いの中で成果の青写真が見えたことは、次年度からの事業の展開が楽しみにしてくれるものでした。</p> <p>(今後に向けて) 単年で完成することはできない事業であり、長い期間を設け実施いたします。関わった学生には地域行事にも関心を持っていただき、人材発掘につなげたいと思います。</p>

事業名	各種団体援護事業
事業費	345,700円(自治会のみ)
事業概要	<p>(実施内容) 地区で活動する団体への活動の支援をしました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 300人</p> <p>(成果) より活発な活動へつながりました。また、今以上の援護の必要性も確認できました。</p> <p>(評価) 良好と思われまます。</p> <p>(今後に向けて) 継続して実施いたします。</p>

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。